

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 12 月 19 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/19 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約1.9 m <sup>3</sup> /h	23.9 °C	106.9 kPa abs	A系: 0.14 vol%
		給水系:約2.3 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.09 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.5 m <sup>3</sup> /h	36.9 °C	6.29 kPa g	A系: 0.09 vol%
		給水系:約2.0 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.09 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.4 m <sup>3</sup> /h	36.3 °C	0.26 kPa g	A系: 0.20 vol%
		給水系:約1.9 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.18 vol%

\*1 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (12/19 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	15.1 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	21.8 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	25 °C

\*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

### 【共用プール】

- ・12/18 9:50 共用プール冷却浄化系において、所内共通D/G(A)メタクラ母線停止作業に伴い、共用プールの冷却を停止。なお、12/19 まで冷却停止予定。冷却停止時のプール水温度は約 19.0°Cで、停止中のプール水温度上昇率については約 0.23°C/h と評価しており、停止中のプール水温上昇は約 8°Cであることから、運転上の制限値 65°Cに対して十分余裕があり、プール水温度管理上問題ない。
- ・12/19 14:00 当該作業が終了したため、共用プール冷却浄化系を起動。共用プール温度は冷却停止時の 19.0°Cから 23.0°Cまで上昇したが、運転上の制限値 65°Cに対して余裕があり、使用済み燃料プール水温管理上問題ない。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	12/18 14:00 ~ 移送実施中
6号機	6号機タービン建屋	→ 仮設タンク	12/19 10:00 ~ 15:00 移送実施

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (12/19 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

## <5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

以 上